

第4学年 国語科 学習指導案

日 時 令和5年11月24日（金）6校時
児 童 4年生 6名

1 単元名 きょうみをもったことを中心に要約し、ウナギ新聞を作ろう
教材名 「ウナギのなぞを追って」（光村図書4年下）

2 単元の目標

- (1) 様子や行動を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。
〔知識及び技能〕 (1) オ
- (2) 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕 C (1) ウ
- (3) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕 C (1) オ
- (4) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。
「学びに向かう力、人間性等」

3 単元について

(1) 教材について

本単元は、長期にわたるウナギの産卵場所を探る調査報告文である。尾括型の文章構成になっており、どのように調査を進めてきたのかを年代を追って説明している。ウナギの産卵場所を特定する調査に80年近くの年月がかかったことや、ウナギがたまごを産む場所の謎が徐々に解明されていくことなど、ドキュメンタリーのように年代を追って読み進めていくことを通して、研究の楽しさや難しさや、研究者の熱い思いに触れることができる教材となっている。

(2) 児童の実態について

4年生の児童はこれまでに、段落相互の関係や文章と写真との関係を捉え、筆者の考えを捉える学習や中心となる語や文を見つけて要約するという学習に取り組んできている。本学級の児童は、段落相互の関係に着目しながら文章の構造や内容を把握したり、必要な情報を正しく見つけ出したりすることが苦手である。そこで学習指導の工夫をし、要約するために文章全体の内容を正確に把握し、その中で中心となる語や文、文章中に必要な情報はどれなのかを見つけることができるようにさせたい。

(3) 指導の工夫（研究に関わって）

読む力…「文章を正確に読み、叙述に即して内容を正確に理解し、読み取ったことをもとに自分の考えをまとめる力」

視点1 単元の構想

- (1) 本単元のゴール
 - ・興味をもったことに合わせて、中心となる語や文を選んで要約することができる。
 - ・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもち紹介することができる。
- (2) 言語活動の明確化
家族に向けて紹介するために、内容の要約、感想を載せたウナギ新聞を書く。総合的な学習の時間とも関連させ、新聞には研究に同行した方へのインタビュー記事も載せる。

視点2 学習指導の工夫

- 手立て① 課題解決のための学習活動や発問
単元の見通しの段階で、ウナギが減っていることが書かれた新聞記事と、大槌町にウナギの研究に携わっている方がいることを紹介し、学習に興味をもたせる。エラーモデルを提示し、思考を深める。
- 手立て② 考えを共有するための話し合い
大事な語や文を選んだり、要約したりする際に、グループで話し合い、互いにアドバイスし合ったことをもとに、自分の考えを見直させる。
- 手立て③ 学びを自覚するための振り返り
目的に合わせて大事な語や文を選んだり、要約したりするときに、気を付けることを振り返らせる。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・様子や行動を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)オ	①「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。 C(1)ウ ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 C(1)オ	・進んで本文を読み、自分の興味を中心となる語や文を探して要約し、学習課題に沿って自分の感想や考えを入れ、新聞に書いている。

5 学習指導計画(11時間)

学習過程	時	主な学習活動	評価規準	
見通し	1	○興味をもったことを中心に要約して紹介する新聞を書くという学習の見通しをもつ。 ○範読を聞き、初発の感想を書く。		
構造と内容の把握	2	○感想を発表し合う。 ○自分や友達の興味を中心を確かめる。		
	3	○おおまかな文章構成と、「初め」「中」「終わり」の内容を捉える。 ○「中」の前半と後半の区切りを予想する。		
精査・解釈	4	○「中」の前半を読んで、調査の道筋と内容を捉える。 ○各段落の主な内容や相互関係を、文章構成表にまとめる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【知】 様子や行動などを表す語句に着目し、着目した理由に基づいて必要な語句を選び出しているか確認する。 [ワークシート]</p> </div>	
	5	○「中」の後半を読んで、調査の道筋と内容を捉える。 ○各段落の主な内容や相互関係を、文章構成表にまとめる。		
	6	○自分の興味を中心に沿って、各段落の大事な言葉や文を、文章構成表にまとめる。		
	7	○要約の下書きをする。		
	8 (本時)	○要約するための言葉や文の選び方のポイントについて話し合い、下書きした要約の内容を見直す。		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【態】 進んで本文を読み、既習事項を生かしながら自分の興味を中心となる語や文を探しているか確認する。 [発言・ワークシート]</p> </div>
	9	○前時に学んだことを生かして、要約の清書をする。		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【思①】 目的を意識して、必要な語句を入れながら要約しているか確認する。 [ワークシート]</p> </div>
考えの形成と共有	10	○「もっと読もう」を読む。 ○筆者の調査についての感想を書く。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【思②】 文章の叙述をもとに、自分の考えや感想をもっているか確認する。 [発言・ワークシート]</p> </div>	
	11	○友達と要約したものを読み合い、感想を伝え合う。 ○単元の学習を振り返る。		

6 本時の指導 (8/11)

(1) 目標

提示された要約の問題点について考え、要約するための言葉や文の選び方を捉え、自分が選んだ言葉や文を見直すことができる。

(2) 評価規準

自分の興味の中心に沿って、大事な言葉や文を捉えて読んでいる。

ねらいを達成している児童の姿・見取りのポイント	ねらいを達成していない児童への支援
学んだポイントに沿って、自分の要約を見直している。 ・興味をもったことに合った内容になっているか ・大事な言葉や文が入っているか ・伝わりやすい文章になっているか	既習事項や本文，文章構成表に着目させる。

(3) 展開

	学習活動	・指導上の留意点 ◎評価
導入 (10分)	1 前時までの学習を想起する。	・前時までの文章全体の内容を確認し、要約の下書きをしたことを想起し、内容を見直すことを確認する。
	2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> ◎要約をするときのポイントを見つけ、自分の要約を見直そう。 </div>	
	3 課題解決の見通しを持つ。	・教師が提示した要約を読み、問題点があることを確認する。 ・自分の下書きが、よりよく要約できているか見直す必要があることに気付かせる。
展開 (27分)	4 課題を解決する。 ○提示された要約の問題点と理由について、自分の考えをまとめる。 ○考えたことをグループで交流する。 ○考えたことを全体で交流する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto;"> 要約のポイント ・きょうみをもったことによって、使う言葉や文を変える。 ・大事な言葉や文を入れて、短くまとめる。 </div>	・文章構成表をもとに、問題点と、そのように考えた理由を書かせる。 ・提示された要約は、目的に合っていないかったり、一文をそのまま書いていて大事な言葉や文を選んでいなかったりしていることに気付かせる。 ・大事な言葉や文を選んでいるかを話し合わせる。(手立て②) ・教材文や文章構成表をもとに、要約内容の見直しをさせる。 ・エラーモデルと自分の要約を比べ、大事な言葉や文に気付かせる。(手立て①) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto;"> ◎【思】目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。 C (1) ウ [サイドライン, ワークシート, 発言] </div>
	○自分の要約の下書きで選んだ言葉や文が、要約するためにふさわしいものかを、グループで交流する。 ○学んだポイントに沿って見直す。	
終末 (8分)	5 本時の学習を振り返る。	・今日の学習について、何に気を付けて見直しをしたか、大切なことは何か振り返りを書かせる。(手立て③) ・次時は今日の見直しをもとに、清書していくことを確認する。
	6 次時の学習を確認する。	

(4) 板書計画

<p>要約のポイント</p> <ul style="list-style-type: none">・きょうみをもったことによつて、使う言葉や文を変える。・大事な言葉や文を入れて、短くまとめる。	<p>△文が長い</p> <p>△大事な言葉や文がない</p>	<p>(要約のエラーモデル)</p>	<p>△関係のないことを書いている</p> <p>(要約のエラーモデル)</p>	<p>①か 要約するときのポイントを見つけ、自分の要約を見直そう。</p>	<p>ウナギのなぞを追つて</p>
---	---------------------------------	--------------------	--	---------------------------------------	-------------------

7 考察

【成果】

- ・ウナギ新聞を作るというゴールに向かって意欲的に取り組むことができた。
- ・総合的な学習の時間とも関連付けて、実際に研究に携わった方にインタビューできるということも意欲をもった学習につながった。
- ・難しい要約の学習であったが、ポイントを確認したり、前単元からの積み重ねがあったことで、抵抗なく取り組むことができた。
- ・エラーモデルを示したり、お互いにアドバイスし合ったりすることで、よりよい要約にするためにどうしていけばよいのかを考えることができていた。

【課題】

- ・要約への抵抗はないものの、内容を見ると正しい要約とはなっていない。今後も練習が必要である。
- ・発問を工夫して考えを深めるという内容の学習ではなく、各自の作業が多い学習内容であったため、各時間の発問の吟味が不十分であった。